

# 2025年度運営協議会（CS）アンケートまとめ

CS協議会 評価部会

昨年度から、井萩小学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール：CS）が実施するアンケート調査の時期を、年度末の3学期から10月頃へと変更しました。できるだけ早い時期に結果を把握し、年度内の学校運営協議会での話し合いに反映させたいという考えからです。

少し長くなりますが、この資料では10月に実施したアンケート結果をご報告します。なお、3月発行予定の「CSだより」には、内容を簡潔にまとめた報告を掲載いたします。

今年度も保護者、3・4年生、5・6年生と別けてアンケートを作成しました。質問項目数・内容は昨年度をほぼ踏襲しています。アンケート質問項目は、保護者の皆さんには子どもたちの様子に関することに絞り、子どもたちには家庭や学校での生活の様子、自分の気持ちについて答えてもらっています。自由記述欄については一部変更を加しました。保護者アンケートでは、昨年度よりも具体的な設問とし、コメントの記入をお願いしました。子どもたちへのアンケートでは、昨年度の「井萩小学校をもっと良くするためのアイデア」に代えて、を自由記述欄に記入してもらいましたが、「自分に自信がある・やる気がある・がんばろうと思うとき」と、「自信がない・やる気が出ないとき」それぞれについて記述してもらいました。

アンケートでは回収率が重要ですが、今年度の保護者アンケート回収率は昨年度の48%から65%（243名）へと大きく向上しました。子どもアンケートの回収率も88%（昨年度89%）と高い水準を維持しています。自由記述欄には、昨年度同様、多くの保護者の皆さま（110名）からご記入いただきました。数だけでなく、内容も深く、よく考えられたコメントが多かったことが今年度の特徴です。子どもたちからも合計182名がコメントを寄せてくれ、素直な言葉から日々の様子がよく伝わってきました。

例年お伝えしている通り、アンケート結果は井萩小学校CS協議会にとって大変貴重な資料であり、実際に協議会での話し合いに生かされています。今後も井萩小学校をより良くするために活用してまいります。

ご協力くださった保護者の皆さま、そして子どもたちに心より感謝申し上げます。

## 保護者アンケート集計

保護者アンケートの10個のアンケート設問（設問2～設問9、設問11、13）と4個の自由記述設問（設問10、12、14、15）は以下の通りでした。

設問2 子どもは、学校の授業が分かりやすい、あるいは楽しいと感じている

設問3 子どもは、着実に基礎学力を身に付けている

設問4 子どもは、先生を信頼して学校生活を送っている

設問5 子どもは、毎日学校に行くのが楽しそう

設問6 子どもは、学ぶ意欲や自分の考えを表現する力が高まってきている、あるいはその方向で育ちつつある

設問7 子どもは、自分や友達の良さを認めたり、きまりを守って生活したりしている

設問8 子どもは、最後までやり通す力を身に付けてきている、あるいはその方向で育ちつつある

設問9 学校の教職員と保護者は、本音の意思疎通を通じ協調して子育てに取り組む姿勢が大切と認識しています。その観点で現在井萩小の教職員との意思疎通は十分なされていると思いますか。

設問10 自由記述欄：設問9に関連して、6月の道徳授業地区公開講座で「しつけ・教育は家庭か学校か」という問いを取り上げ、CSとしての考え方を示しました。すなわち、個人の基礎的部分は主に家庭で、他人との

関りを通じた社会性は主に学校で、両輪としてどちらも欠かせないということです。「しつけ・教育は家庭か学校か」という問いに対してご意見などコメント欄に書いてください。

設問 11 学校、家庭と地域が一体になり、相互に補完しながら子どもたちを育てていくことが大切と考えています。井萩小学校は地域の人たちと関りながら子どもたちを育てていると思いますか。

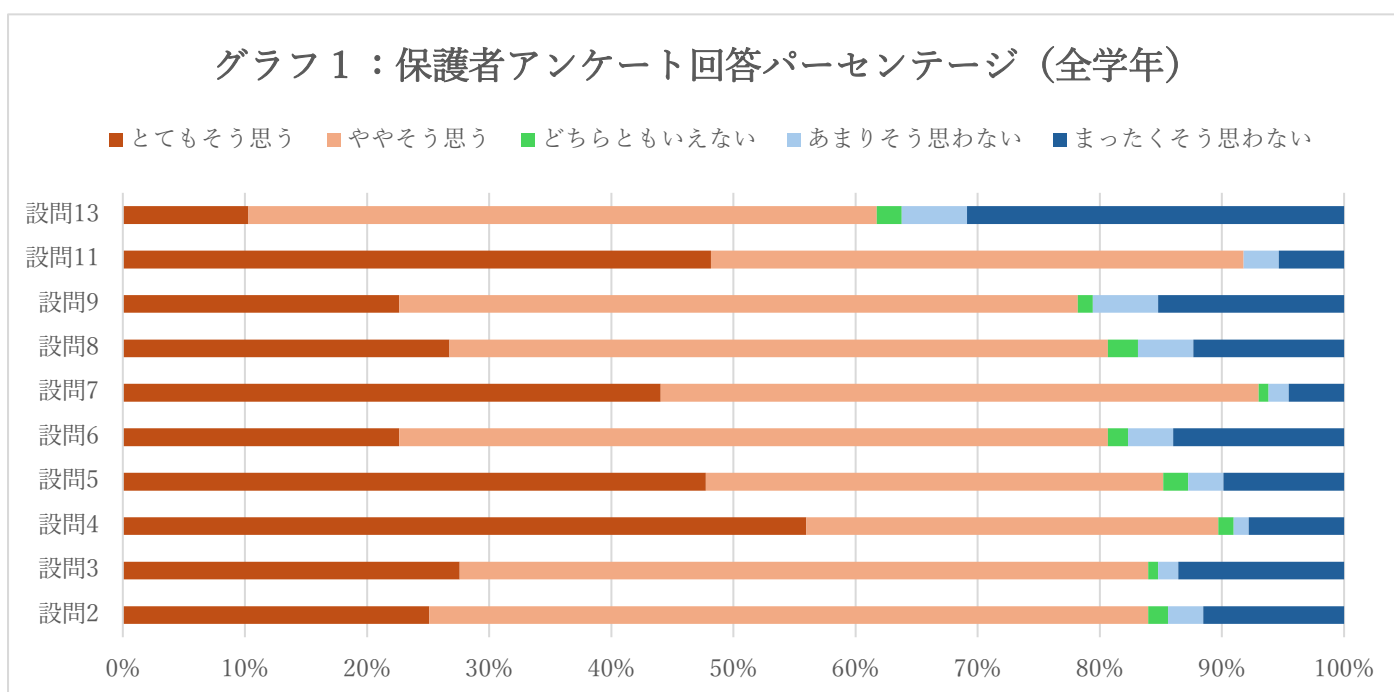
設問 12 自由記述欄：設問 11 に関連して、現在の井萩小の地域との関りについて、感じていることや地域に期待することをコメント欄に書いてください。

設問 13 共に育ち、育て合うためには、保護者同士のコミュニケーションや協力が大切だと考えています。井萩小では、保護者どうしがつながり、協力し合えていると思いますか。

設問 14 自由記述欄：設問 13 に関連して、7月に行った PTA 役員と CS メンバーとの懇談会での大きな話題は「保護者同士のコミュニケーションの現状」でした。特にコロナを境に保護者同士のつながりが希薄になっているのは問題ではないかという認識を共有しました。保護者同士のつながりの大切さ、つながりを醸成する工夫など感じていることをコメント欄に書いてください。

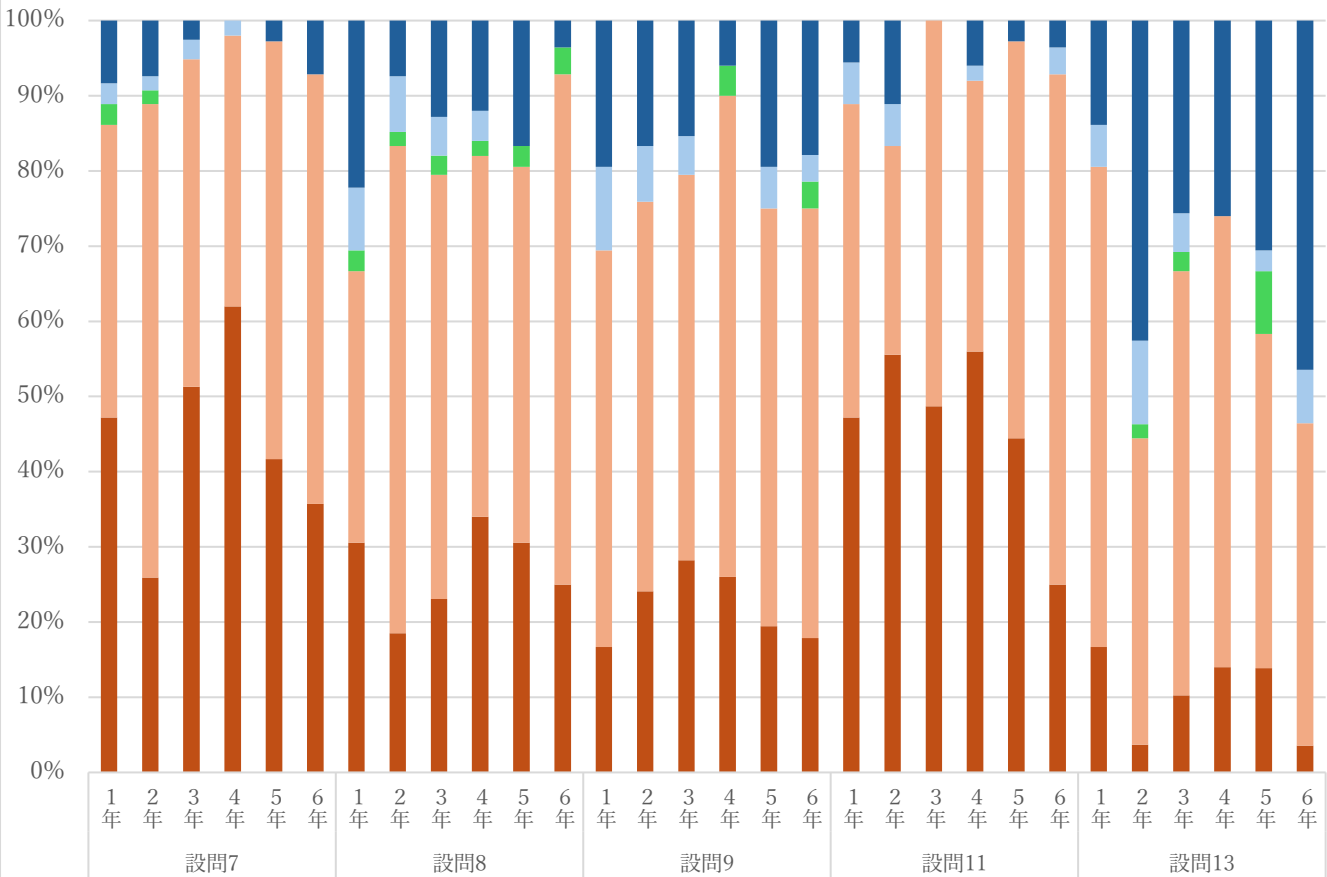
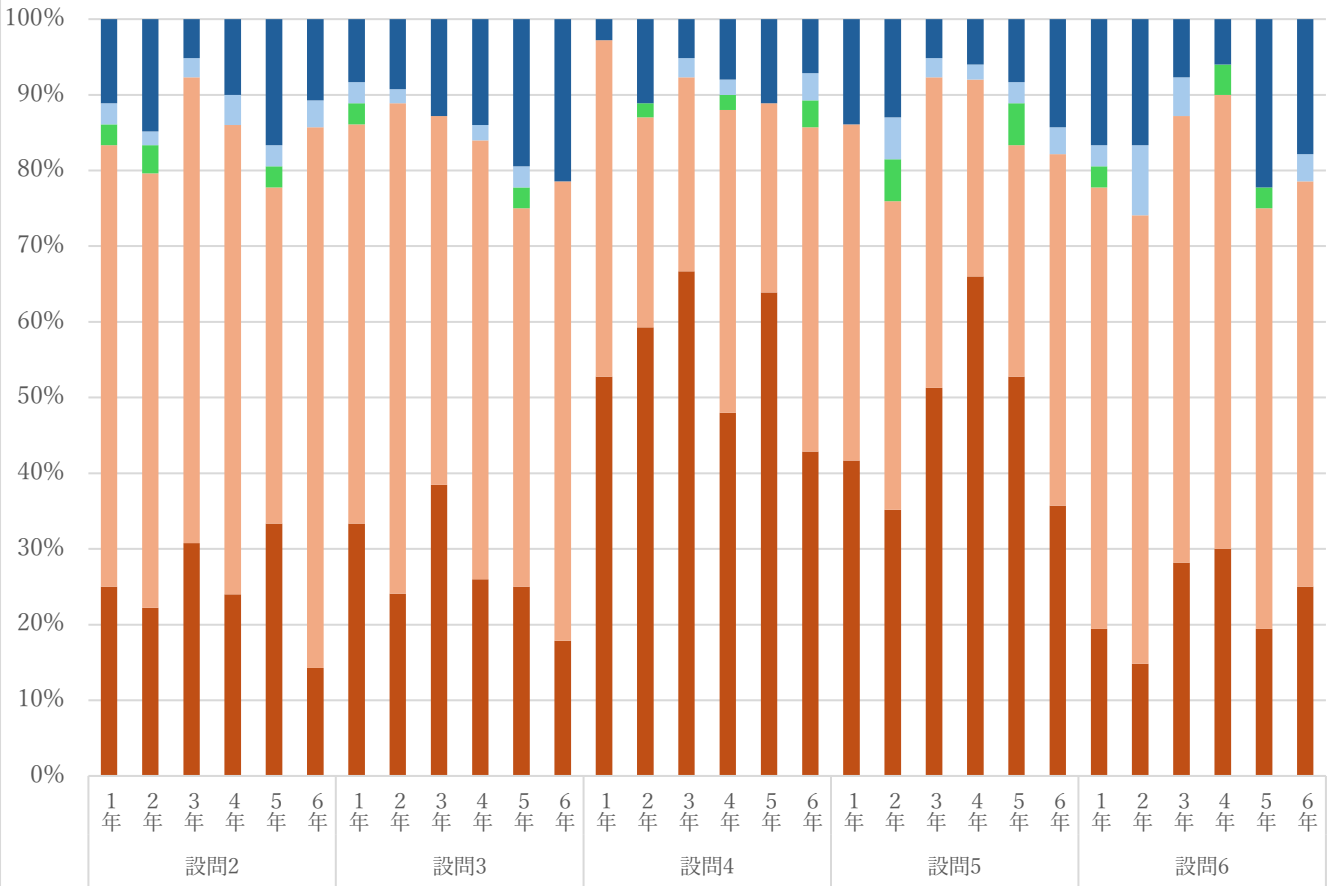
設問 15 自由テーマのコメント欄：自由なテーマのコメントを書いてください。

## アンケート回答



グラフ2：保護者アンケート回答パーセンテージ（学年別）

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ まったくそう思わない



## 保護者アンケートの選択回答結果

- ・アンケートの回収率は、前年を上回り65%でした。またどの学年も平均して同じような回答率でした。
- ・設問4の「子どもは、先生を信頼して学校生活を送っている」や設問7「子どもは、自分や友達の良さを認めたり、きまりを守って生活したりしている」設問11「学校、家庭と地域が一体になり、相互に補完しながら子どもたちを育てていくことが大切」の項目が90%を超える高い肯定率でした。この回答結果は、設問の3つの項目とも昨年度と同様に高い肯定率でした。このことから保護者は、子どもたちは先生を信頼し、お互いの良さを認め合いながら、きまりある生活をしていると受け止めていると言えます。

さらに井萩小学校は、特色ある教育活動や学校支援本部の多大な支援を受けながら、地域のさまざまな人たちと関わり合いながら子どもたちは育てていると評価していることが分かります。
- ・設問6「学ぶ意欲や自分の考えを表現する」設問8「最後までやりとおす力を身に付けている」が昨年度と同様に学年差があるものの他の項目より否定的な回答が多くなっています。設問9「教職員と保護者が本音の意思疎通を通じ協調して子育てに取り組む」ことについて肯定率が80%前後で他の項目より低く、学年差がある傾向にありました。またこの3項目は、否定率が他の項目より高い傾向にありました。
- ・設問13「保護者同士がつながり、協力し合っている」は、肯定率が60%台で30%以上の否定率で他の項目より多い傾向にありました。これらのことから教職員と保護者の意思疎通を図りつつ、保護者同士のコミュニケーションや協力を大切にしていきたいという願いがあるとみられます。

## 保護者アンケート自由記述コメントのまとめ

- ・設問10「しつけ・教育は家庭か学校か」

C S委員会の示した子ども個々の基礎的となる躰は家庭で、他人との関わりで身に付ける社会性は学校での両輪でという認識は概ね理解されていました。一方、家庭か学校かは分けられない、またどちらかという家庭が主という意見もみられました。
- ・設問12「井萩小学校の地域との関わりについて」

環境学習や様々な授業への支援、土曜教室、朝遊び等への地域の人々に感謝するコメントが大変多く出されていました。さらにイベントが多くとても楽しみにしていることやその運営を労うコメントも多数ありました。一方イベントでの保護者の負担感や騒音など近隣のクレームに対する意見もありました。
- ・設問14「保護者同士のつながりについて」
  - ・保護者間の連絡や気軽に些細なことも相談できる関係、トラブルへの対応等に保護者同士のつながりが大切であると認識している記述が多数ありました。一方強制的なつながりには拒否感を持つ意見もあり、全体のつながりは求めないが相談相手は必要という意見もありました。

## 3-4年アンケート集計

以下 14 個のアンケート設問（設問 2～設問 15）と 2 個の自由記述設問（設問 16,17）です。

設問 2 おうちの人に困（こま）ったとき自分の気持ちを伝（つた）えたり、相談（そうだん）したりできますか？

設問 3 おうちの人と学校でのことをよく話したりしますか？

設問 4 おうち的人是授業（じゅぎょう）や行事（ぎょうじ）を見に来てくれることがうれしいですか？

設問 5 おうち的人是よくほめてくれたり、自分や友達（ともだち）がまちがったことをしたときに注意（ちゅうい）してくれたりしますか？

設問 6 おうちの人や先生（せんせい）いがいの人で、困（こま）ったことがあったときに相談（そうだん）できる人はいますか？

設問 7 周（まわ）りの大人（おとな）の人に何かしてもらってうれしいことはありますか？

設問 8 井萩（いはい）小学校を好（す）きですか？

設問 9 授業（じゅぎょう）は分（わ）かったり、できたりするようになって楽しいですか？

設問 10 おうちで自分から勉強（べんきょう）を始（はじ）めることができますか？

設問 11 先生（せんせい）に何でも話したり、困（こま）ったとき相談（そうだん）したりできますか？

設問 12 毎日（まいにち）学校（がっこう）に行くのが楽しいですか？

設問 13 授業（じゅぎょう）で進（すす）んで発言（はつげん）したり、友達（ともだち）と自分の考えを出し合いながら話し合（な）ったりしますか？

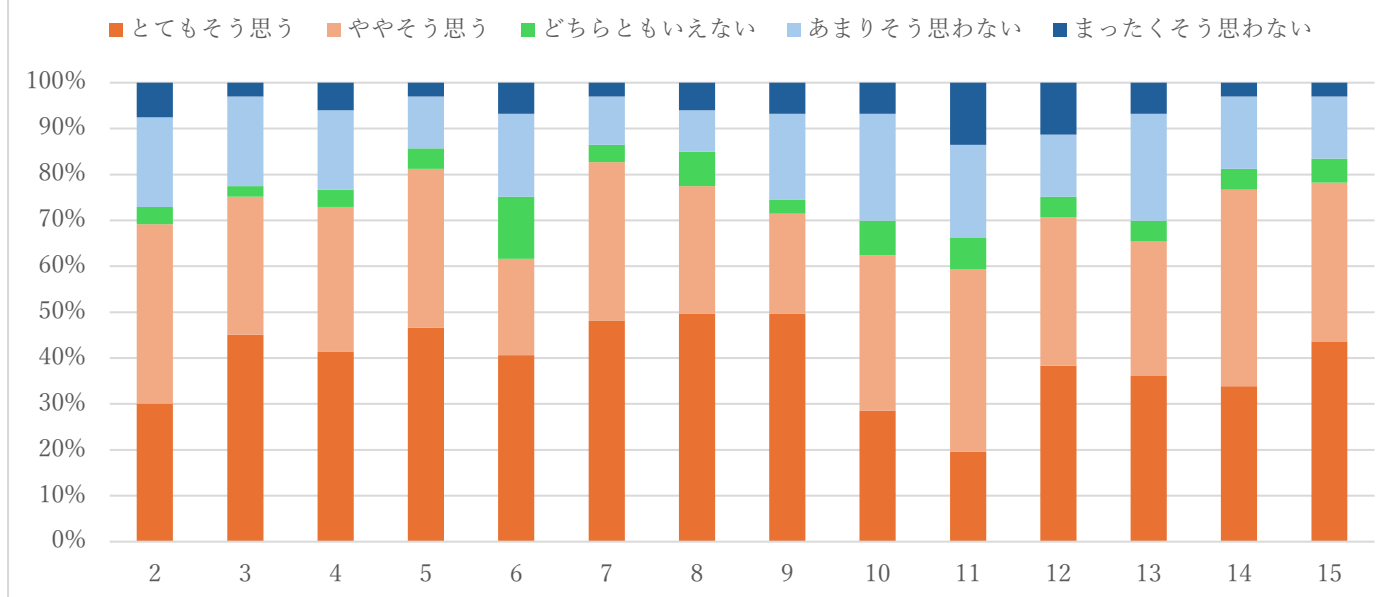
設問 14 自分（自分）や友達（ともだち）のよさを認（みと）め合いながら、きまりを守（まも）って生活（くわつ）をしていますか？

設問 15 授業（じゅぎょう）やいろいろな活動を最後（さいご）までやり通（とお）すことができますか？

設問 16 あなたは、「自分にじしんがある」「がんばろう」と思うときがありますか。それはどんなときですか。かきたい人（ひと）だけ、かいてください。むりにかかなくてもいいです。

設問 17 「自分にじしんがない」「やる気（き）が出（い）ない」と思うときがありますか。もしあればそれはどんなときですか。かきたい人（ひと）だけ、かいてください。むりにかかなくてもいいです。

グラフ 3 : 3-4年アンケート回答パーセンテージ



## 5-6年 子どもアンケート集計

以下 14 個のアンケート設問（設問 2～設問 15）と 2 個の自由記述設問（設問 16,17）です。

設問 2 困ったとき、家族の人に自分の気持ちを伝えたり、相談したりできていますか？

設問 3 家族の人と学校でのことをよく話したりしますか？

設問 4 家族の人が授業（じゅぎょう）や行事を見に来てくれることがうれしいですか？

設問 5 家族の人は、よくほめてくれたり、自分や友達（ともだち）がまちがったことをしたときに注意してくれたりしますか？

設問 6 家族の人や先生以外で、困ったことがあったときに相談できる人はいますか？

設問 7 井萩小学校を好きですか？

設問 8 先生と気軽に話したり、困ったとき相談したりできますか？

設問 9 授業（じゅぎょう）の内容（ないよう）や速さは、自分に合っていますか？

設問 10 毎日学校に行くのが楽しいですか？

設問 11 自分たちが上級生であると思って、下級生たちに接（せつ）していますか？

設問 12 中学生になることを楽しみにしていますか？

設問 13 授業（じゅぎょう）で進んで発言したり、友達（ともだち）と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか？

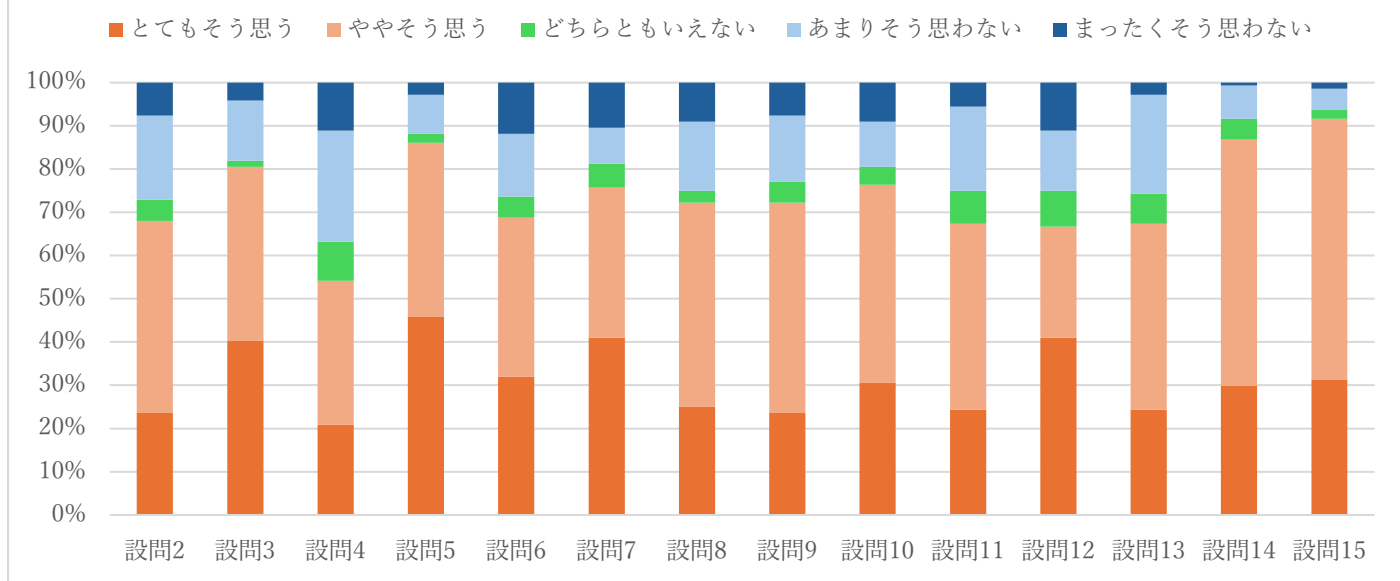
設問 14 自分や友達（ともだち）のよさを認（みと）め合いながら、きまりを守って生活をしていますか？

設問 15 授業（じゅぎょう）やいろいろな活動を最後までやり通すことに努力していますか？

設問 16 あなたは、「自分に自信がある」「やる気がある」と思うときがありますか。それはどんなときですか。思ったことや感じたことを自由に書いてください。何も思いつかないときは、何も書かなくてもいいです。

設問 17 「自分に自信がない」「やる気が出ない」と思うときがありますか。もしあればそれはどんなときですか。思ったことや感じたことを自由に書いてください。何も思いつかないときは、何も書かなくてもいいです。

グラフ4：5-6年アンケート回答パーセンテージ



## 子どもアンケートの選択回答結果

子どもアンケートの3・4年生全体の集計結果はグラフ3に、5・6年生全体の集計結果はグラフ4にまとめられています。

3・4年生で肯定的回答が約80%程度の項目は、設問7「周りの大人の人に何かしてもらってうれしいことはありますか?」、設問5「おうちの人はよくほめてくれたり、自分や友達がまちがったことをしたときに注意してくれたりしますか?」、設問15「授業やいろいろな活動を最後までやり通すことができますか?」でした。そのうち設問5と設問15は昨年に引き続き肯定的で、設問5は家庭でほめてもらえたり、間違っただけには注意をしてもらえたりなどしっかり認めてもらえていることがうかがえます。設問15ではしっかりやり通せると自己肯定ができてることが前向きで素晴らしいです。設問7は今年度の調査では最も肯定率が高かった項目で、昨年度も約80%近い肯定率の項目で井荻の子どもたちは周りの大人から様々な場面で関りが持っている証で、保護者の設問11の学校と地域が一体となって育てていくことの肯定率が高いことと関連しているところいえましょう。

肯定率が低い項目の中には、設問11「先生に何でも話したり、困ったとき相談したりできますか?」、設問10「おうちで自分から勉強を始めることができますか?」、設問13「授業で進んで発言したり、友達と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか?」が上がっておりますが、60%以上の子どもたちは肯定的な回答で、一部自ら勉強を始めたり、人と話し合っただけで授業などを進める高学年に向けて必要な事柄が今一つという子どもがこれに該当します。設問11については保護者アンケートの設問4「子どもは、先生を信頼して学校生活を送っている」は90%ぐらいの肯定率と比べ少し乖離があるところで、一考の余地がありそうです。肯定率の低い項目はいずれも昨年と同様の3項目となることから、その点からも一層の検討改善の必要性があると考えられます。

5・6年生で肯定的回答が約80%程度の項目は、設問15「授業やいろいろな活動を最後までやり通すことに努力していますか?」、設問14「自分や友達のよさを認め合いながら、きまりを守って生活をしています?」、設問5「家族の人は、よくほめてくれたり、自分や友達(ともだち)がまちがったことをしたときに注意してくれたりしますか?」、設問3「家族の人と学校でのことをよく話したりしますか?」の4項目で設問15は90%を超える肯定率で、3-4年生でも肯定率が80%だったものが伸びているということが見られました。設問5は同じく3-4年生でもやはり肯定率が高い項目で、設問14は3-4年生では80%未満でしたが、10ポイント程度肯定率が高く互いの良さを認められる関係が築けているという評価ができる項目です。設問3も3-4年生よりも5ポイント程度肯定率が上がり家庭内で意見交換が進んでくる様子が見取れます。設問15、設問5は昨年も同様に肯定率の高かった項目です。

肯定率の低い項目には設問4「家族の人が授業や行事を見に来てくれることがうれしいですか?」、設問6「家族の人や先生以外で、困ったことがあったときに相談できる人はいますか?」、設問2「困ったとき、家族の人に自分の気持ちを伝えたり、相談したりできていますか?」、設問13「授業で進んで発言したり、友達(ともだち)と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか?」が挙げられており、高学年になると家族が授業参観に来ることの照れなどが見られるのでしょうか?設問4、設問13は昨年度も肯定率の低かった項目です。気になったのは設問6、設問2の困ったときの相談できる人や場所について、家族やそれ以外でも肯定率が低いことは非常に気になる点で、3・4年生でも同じく肯定率が低かった項目で、真剣に改善すべきこと等を検討する必要性を感じます。設問13「授業(じゅぎょう)で進んで発言したり、友達(ともだち)と自分の考えを出し合いながら話し合ったりしますか?」も肯定率が低い方で、改善が望まれます。

3・4年生の設問11(60%)、5-6年生の設問8(72%)のように肯定的回答が多かった一方、否定的回答がそれぞれ34%と25%とありました。特に、3・4年生の数字が高く先生と気軽に話せない子どもが多い点も気になるところです。

## 子どもアンケート自由記述欄のコメント

3・4年生と5・6年生にはそれぞれ設問16と設問17で自由記述欄を設けています。設問16では「自分に自信がある・やる気がある・がんばろうと思うとき」のこと、設問17では「自信がない・やる気が出ないとき」のことを記入してもらいました。

コメント記入してくれた人数は、3年生21名、4年生53名、5年生65名、6年生43名と3年生以外はまんべんなく多かったです。昨年に比べてほぼ同じくらいの回答率でした。また内容も子どもらしいコメントばかりでなく、特に5・6年生中心にしっかりと考えてくれた上でのコメントが多くありました。

3・4年生では設問16「自信がある」、「頑張ろう」では「ほめられたとき」、テストや運動やクラブ活動などで「できたこと、達成感など」、「好きな教科でできること」などが挙げられており、設問17「自信がない」、「やる気が出ない」では「嫌いな教科」「宿題」のほか「友達との関係」など人間関係に悩みなども見られました。

5・6年生では設問16では「ほめられたとき」、「得意な教科での達成感」、テストや運動やクラブ活動などで「できたこと、達成感など」、「好きなことをしているとき」、「友達に頼られる」、「共同作業」などが挙げられており、設問17では「勉強がうまくいかない」「不得意な教科」などが増え、「人間関係での悩み」、「発表等」、「役に立たなかったとき」など少し複雑な高学年らしいことが記述されておりました。

3・4年生、5・6年生全体を通じて、難しい問題や苦手なことに直面した時にやる気が出るという子どもが少し見られますが、一方やる気が無くなるという消極性がみられるコメントも多くあり、やる気を起こさせる仕掛けも必要かと思われます。

以上